

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	登喜和冷凍食品株式会社					
代表者名	氏名	登内 英雄	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	伊那市西町5057番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	凍り豆腐の製造・販売と、凍り豆腐や生豆腐を使用した惣菜の製造・販売。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,289	3,190	3,146	3,229	3,289
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7,449	7,225	7,107	7,258	7,422
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	6		6	6	6
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	18				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

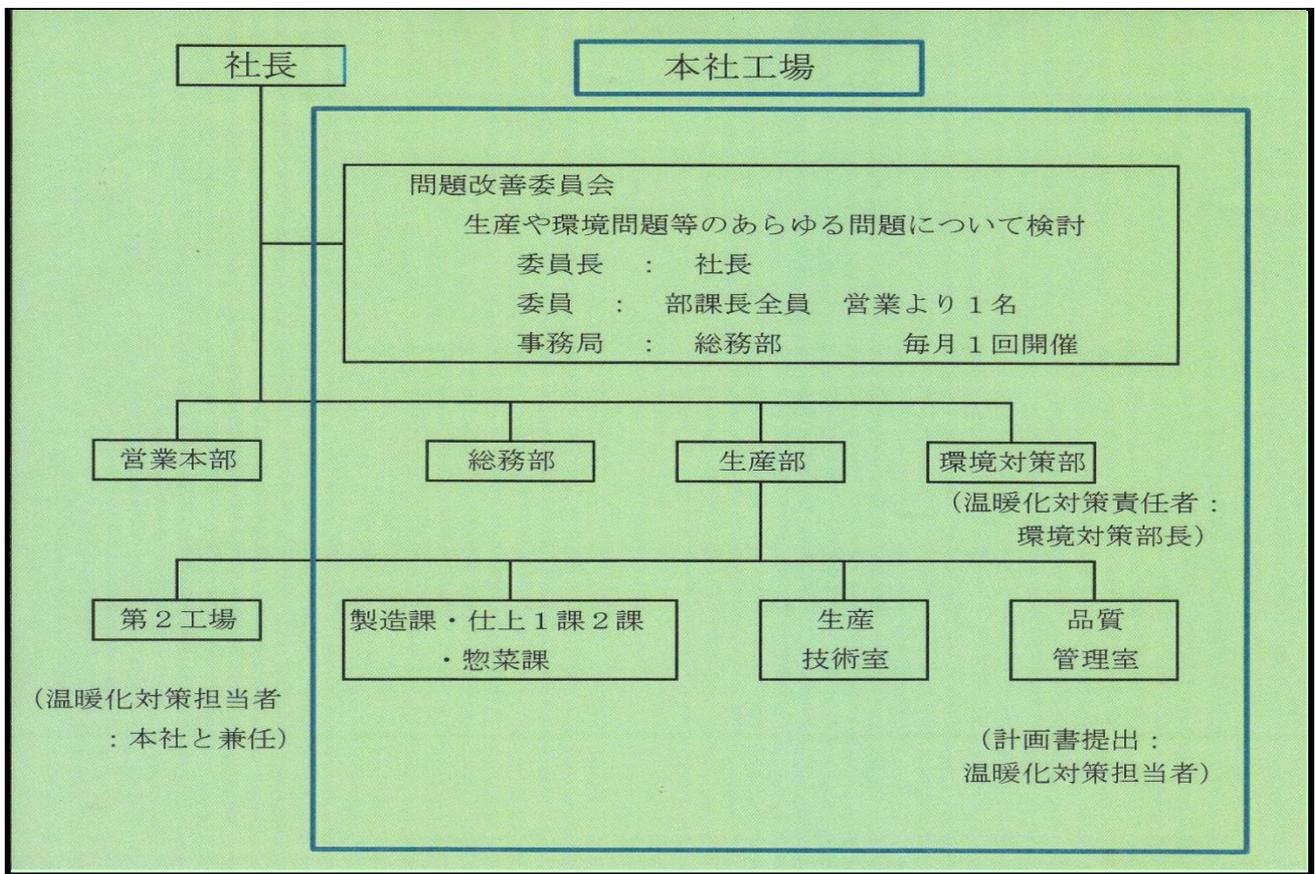
<input type="checkbox"/>	ホームページ	本先に事前に電話で閲覧申し込みをいただき、弊社の指定した日時に対応させていただきます。お問い合わせ先：本社品質管理室 温暖化対策担当者 電話：0265-72-7277（代表）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

全社で省エネルギー活動に取り組み、エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の削減に努めます。古い設備は省エネ効果のある新設備に更新、現在使用中の設備の適切な維持管理、従業員の省エネ意識の向上等に努めてまいります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

名称 : 問題改善委員会 (社内のすべての問題について検討します)
開催頻度 : 毎週1回 月曜日 14:00~

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,449	t-CO ₂	売上高	2,003.10	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	6,672	t-CO ₂	基準原単位	3.72	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量	7,225	t-CO ₂	目標原単位	3.61	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	各年度で1%の抑制(3年間で3%抑制)を目標に取り組んでいく。						
第一年度	排出量	7,107	t-CO ₂	売上高	1,869.80	単位	百万円
	削減率	4.59	%	原単位	3.80	t-CO ₂ /	百万円
2020年度	調整後排出量	6,256	t-CO ₂	原単位削減率	-2.16	%	
	削減率	16.01	%				
排出量等の増減理由	売上高は減少し二酸化炭素排出量も減少したが、生産量に関係しない部分のエネルギーは同様に使用していること、そして、第2工場での生産品目が一部変更され、エネルギーを多く使用する品目にシフトしたため、原単位は増加してしまった。						
第二年度	排出量	7,258	t-CO ₂	売上高	1,876.20	単位	百万円
	削減率	2.56	%	原単位	3.87	t-CO ₂ /	百万円
2021年度	調整後排出量	6,574	t-CO ₂	原単位削減率	-4.04	%	
	削減率	11.74	%				
排出量等の増減理由	売上高に対して、生産量(原料大豆使用量)増加の割合が大きく(歩留まり悪化)、このためエネルギー使用量・二酸化炭素排出量の原単位が増加してしまった。						
第三年度	排出量	7,422	t-CO ₂	売上高	1,992.90	単位	百万円
	削減率	0.36	t-CO ₂	原単位	3.72	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	調整後排出量	6,480	t-CO ₂	原単位削減率	0.00	%	
	削減率	13.00	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	目標排出量は達成することができなかった。生産量に対し、ボイラーのA重油使用量が大きく増加。大豆品質の変化によりこうや豆腐・おからの乾燥に要する重油使用量が増加、また、生産品目の変化により重油使用量が大きく増加したことが原因として考えられる。調整後排出量は、低炭素電力の利用により大きく削減することができました。						

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	18	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320351	蒸気配管系の断熱強化	2020～ 2022	9	2020～ 2022	3
2	エネ起	330202	空気調和設備の効率管理（冷 凍・熱成室関連）	2020～ 2022	20	2020～ 2022	5
3	エネ起	360702	ファン及びブロワーの運転管理	2020～ 2022	20	2020～ 2022	6
4	エネ起	360705	ポンプ・ファン・コンプレッ サー等の運転・保全管理	2020～ 2022	9	2020～ 2022	3
5	エネ起	360799	ポンプ・ファン・コンプレッ サー等に係るその他の削減対策	2020～ 2022	40	2021～ 2022	4
6	エネ起	380752	LEDランプの導入	2020～ 2022	4	2020～ 2022	4
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	6,926					1	6,826
1,500k1以上 3,000k1未満			1	6,589	1	6,706		
1,500k1未満	1	523	1	518	1	552	1	596
合計	2	7,449	2	7,107	2	7,258	2	7,422

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	6	6	6	6
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	交通費支給
自転車の利用促進	交通費支給
来客者の交通対策	最寄りのインターや駅からの地図を作成し、ホームページに記載。
物流の合理化	倉庫・配送センター等への一括納入実施。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	食品循環資源の再生利用		2009年～

1.5 自由記載欄

工程途中で出てくる「おから」等、食品循環資源の再生利用の実施率は、乾燥後、食品用・きのこの培地・飼料・肥料・猫砂等に100%有効利用。また、プラスチック・段ボール・紙類等の廃棄物は、できる限り分別し、排出を最小限におさえています。